



©Hideo MORI

横浜市 平成29年度予算案について ～中期4か年計画の「総仕上げ」の年～

平成29年1月31日

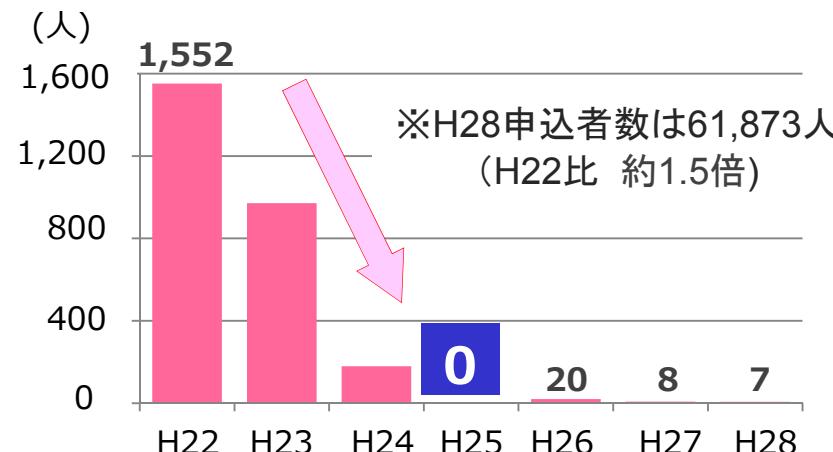


これまでの成果

子ども・子育て、教育

保育所待機児童対策

H25以降、限りなくゼロに近い水準を維持



学校司書を全小中特別支援学校 (計498校) に配置 (H28.4)

読書量が全校平均で1.7倍に。
5倍に増えた学校も



小児の通院医療費助成を小6まで拡大 (H29.4開始)

H27.10 小1まで → 小3まで拡大 (約38,000人増)
H29.4 小3まで → 小6まで拡大 (約63,000人増)

「ハマ弁（横浜型配達弁当）」を 全中学校 (145校) で開始 (H29.1)



これまでの成果

健康づくり、医療・福祉

よこはまウォーキングポイントの推進

スタートからH28.12までの約2年間で
参加登録 **22万人超**（目標30万人の7割超）
「市内在勤」・「18歳以上」に対象者拡大！



約9割の方が
「今までより多く
歩くようになった」と回答



地域包括ケアシステムの構築

- 在宅医療連携拠点を**全区**に展開 (H28.5)
横浜市医師会と連携して、在宅医療と
介護の連携を強化

約2年前倒しで達成

- 生活支援コーディネーターを
全区に配置（計157人）(H28)

日常生活圏内で様々な
生活支援をコーディネート



これまでの成果

女性の活躍支援

- **女性ネットワーク会議・
ウーマンビジネスフェスタの開催**
ネットワーク会議 **6回**、ビジネスフェスタ
4回開催（うち2回は合同開催）
延べ約5,500人に、交流やロールモデル
との出会いの機会を提供



- **女性の起業支援**
F-SUSよこはま、クレアズマーケット等
支援による創業件数 **179件**



- 横浜の取組を**国内外に継続的に発信**
国際女性会議WAW!
APEC「女性と経済フォーラム」等



これまでの成果

横浜経済の活性化

名立たる企業が続々と横浜へ進出



Apple YTC



京浜急行電鉄本社



LG Global R&D
Center

資生堂、ユーグレナ、中外製薬、
KFCホールディングス本社
なども横浜進出を決定

Y-PORT事業

新興国の都市課題解決と市内中小企業の
海外インフラビジネス展開支援

- **4都市と技術協力の覚書を締結**
セブ（フィリピン） ダナン（ベトナム）
バンコク（タイ） バタム（インドネシア）

全ての都市でビジネスの段階へ



セブ市
廃プラスチック
リサイクル

- Y-PORTセンターの発足(H27.5)

横浜経済の活性化

特区を活用したライフイノベーションの推進

- 創薬、医療機器の開発、再生医療などで様々な研究成果
- 横浜ライフイノベーションプラットフォーム（LIP. 横浜）の設立（H28.12）

iPS細胞からヒトの肝臓の創出に
世界で初めて成功
「手術シミュレータ」の製品化



横浜市立大学 先端医科学研究センター
新研究棟



iPS細胞実用化に
向けた拠点

産学官金が連携して
健康・医療分野の新たな製品・
技術・サービスの創出を支援



56社・団体、150名が参加した
キックオフイベント（H28.12.1）

横浜経済の活性化

商店街の振興

● 「ガチ!」シリーズ

毎年、横浜の商店街NO.1メニューを投票で決定

スピノオフ企画「ガチコーデ！」も開催



「商店街全体のお客様が増えた」という声も多数

● 空き店舗対策

空き店舗を活用した新規開業者への支援



● 「よこはまプレミアム商品券」

1万を超える店舗が参加

市内経済への波及効果
28.7億円



都市機能の強化

都心臨海部の機能強化

- 国際ビジネス拠点の形成

特区を活用した横浜駅
きた西口鶴屋地区の開発

グローバル企業の就業者向け
住宅を整備
(多言語対応、職住近接)



国家戦略住宅整備事業
(鶴屋地区)

- 新市庁舎整備とあわせた
関内・関外地区活性化の着実な推進

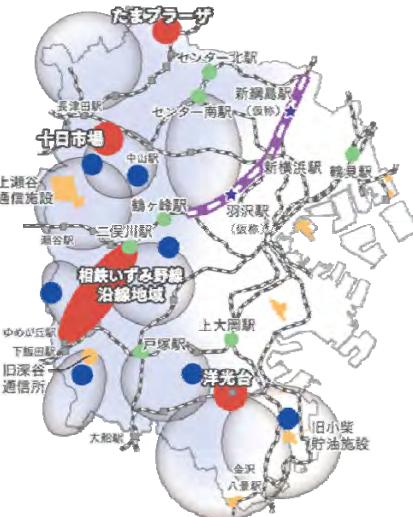
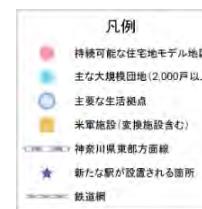
旧関東財務局を活用した
“THE BAYS”オープンへ



郊外部の再生・活性化

- 持続可能な住宅地モデルの構築・推進

4つのモデル地区をはじめ市内10区で
住宅地等の再生につながる取組



- 米軍施設の返還実現・跡地利用の推進



旧深谷通信所



旧上瀬谷通信施設

環境の保全・充実

「環境未来都市」の取組

- 横浜スマートシティプロジェクト (YSCP)



Carbon Neutral
Cities Alliance

ニューヨーク、ポートランド、
横浜、ロンドン等17都市

アジアで唯一選出

横浜スマートビジネス協議会 (YSBA)を設立
(H27.4)

- 水素エネルギーの利活用



ハマウイングを活用した水素製造 水素ステーション (移動式)

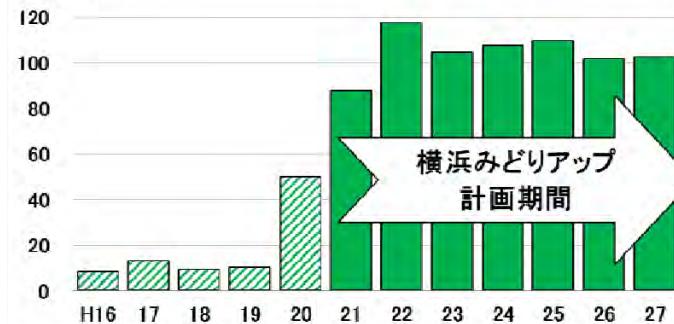
先進的なエネルギー循環都市の実現を目指す

水と緑にあふれる都市環境

- みどりアップ計画による樹林地の保全

平成21年度以降、計700ha超の
樹林地を指定

指定面積(ha)



横浜みどりアップ
計画期間

- 市民の憩いの場となる公園などの整備



農園付公園



山下地区での緑花

都市の骨格づくり

■ 横浜環状道路の整備

- 北線 H29.3開通



写真提供：首都高速道路（株）

■ 先進的な港湾施設の整備

- MC-3コンテナターミナル供用開始 (H27.4)
- 南本牧ふ頭連絡臨港道路



H29.3供用

- 横浜川崎国際港湾株式会社の設立 (H28.1)

国の指定も受け、集貨・航路誘致等の
強力な実施体制を整備

防災・減災

■ 災害に強いまちづくり

- まちの不燃化の推進

条例で新たな防火規制の対象地域を指定
耐火性の高い建築物への建替等を促進

重点対策地域 約1,140ha
対策地域 約3,960ha

- 狹い道路拡幅整備の着実な推進



- がけ地防災対策の強化

H26～29で約9,800か所を調査

■ 自助・共助の推進

- 市民防災センターのリニューアル (H28.4)

年間来場者数10万人到達 (H28.12まで)

リニューアル前の2倍以上



- 地域防災の担い手となる

防災・減災推進員を約1,400人育成

これまでの成果



文化芸術、観光・MICE

■ 横浜らしい芸術フェスティバルの開催 ヨコハマトリエンナーレ 2014



マイケル・ランディイ «アート・ビーン» 2010/2014
撮影:加藤健

来場者 21.5万人
経済波及効果
23億円

Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2015



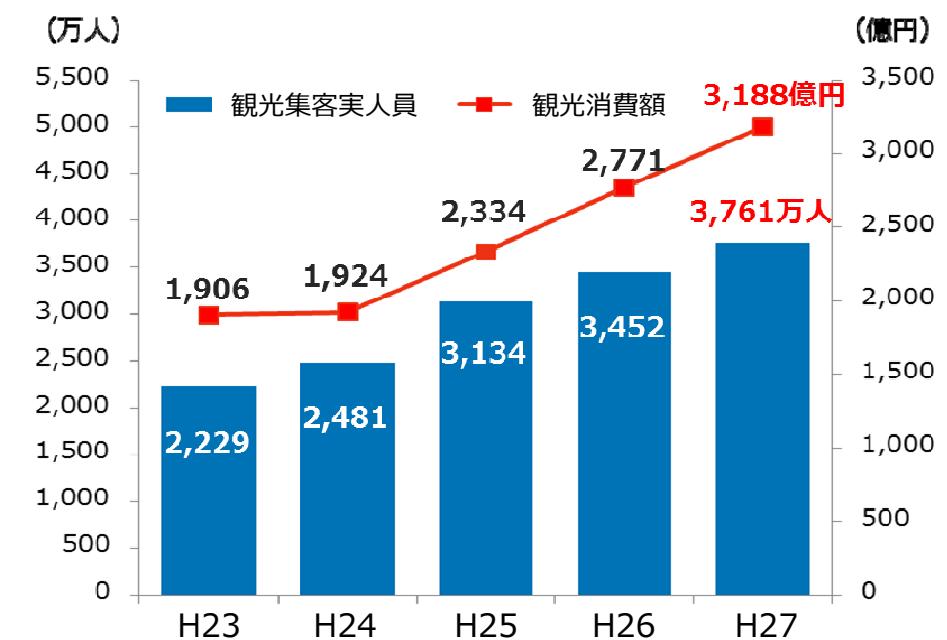
来場者 100万人
経済波及効果
54億円

横浜音祭り 2016



456のイベント
来場者 100万人

H27の観光集客実人員（3,761万人）、
観光消費額（3,188億円）は、
H23の1.7倍、過去最高を更新



中期4か年計画の「総仕上げ」

- ・市民の皆様の安全・安心を守り、心豊かな生活を実現する

喫緊の課題への対応

- ・子どもの貧困対策
- ・いじめ対策の強化
- ・通学路の緊急安全対策

先を見据えた取組

- ・7,000床の病床不足
「2025年問題」への対応
- ・ラグビーワールドカップ2019™・
東京2020オリンピック・
パラリンピックに向けた取組

■ 子ども・子育て支援 ~子どもを産み育てやすい社会~

⊕ 待機児童ゼロの継続

ニーズの増加に対応し、「子ども・子育て支援事業計画」を中間見直し

- 新規整備量 **3,042人分**
- 保育人材確保に向け宿舎借り上げ支援等を拡充



⊕ 妊娠期から産後の切れ目のない支援

- 子育て世代包括支援センターによる支援の充実
母子保健コーディネーターのモデル配置 (**3区**)
- 産婦健康診査、産後母子ケアの実施 (**全区**)



⊕ 放課後キッズクラブへの転換

H31全校設置に向け、**42か所**転換 → 累計**247か所**

教育の質・教育環境の向上

⊕ 児童・生徒支援体制の強化

- チーフスクールソーシャルワーカーの新規配置 計4人
- 小中一貫型カウンセラー 5ブロック配置
→ 全中学校ブロック等（計141）への配置完了

いじめ対策の
強化



⊕ 子どもたちの緊急安全確保対策

- 通学路の安全対策
歩道設置や「あんしんカラーベルト」の整備
- 防火防煙シャッターの危害防止装置を830台設置
→ 全市立学校への設置完了

通学事故
への対応



⊕ より良い教育環境の整備

- 特別教室への空調設備115校設置 → 累計281校
- トイレの洋式化148校実施 → 80%完了

⊕ 子どもたちの「本物」体験の充実

アーティストによる芸術文化体験



■ 子ども・若者を社会全体で育てる

⊕ 子どもの貧困対策の推進

- 寄り添い型学習支援**全区**で実施
新たに高校生の中退防止の取組開始
- 「子ども食堂」の立ち上げを支援
- 放課後学び場**20校**拡充 → 累計40校



⊕ 困難を抱える若者の自立支援の拡充

- 地域ユースプラザ職員が
区役所に出向いての相談を新たに開始



■ 女性の活躍支援 ~日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市~

⊕ ライフキャリア形成支援の強化

よこはまグッドバランス賞認定事業所と
大学生等との交流機会の提供

⊕ 横浜ワークスタイルノベーション推進

多様な働き方の導入相談窓口設置
テレワーク等の普及・啓発、先駆的企業のPR

⊕ 中小企業女性活躍の更なる推進

中小企業の取組発信、環境整備助成、専門家による助言



■ シニアの活躍支援 ~いつまでも元気に活躍できる社会~

⊕ いきいきシニア地域貢献モデル事業の推進

港北区に市内 **2か所目** の生きがい就労支援スポット設置



健康づくり、医療・福祉～健康寿命日本一を目指す～

⊕ よこはまウォーキングポイント

参加登録**30万人**達成を目指して

⊕ 地域包括ケアシステムの構築

- 地域特性に応じた各区行動指針を**全区**で策定
- 認知症初期集中支援チームを**5区**で設置 → 累計**13区**



⊕ 市民病院の再整備（本体工事等）

9月着工 32年度新病院開院

高度急性期医療の充実、感染症・
災害医療拠点としての機能強化

⊕ 2025年に向けた医療機能の確保

- 在宅医療を担う医師の養成・支援
- 医療ビッグデータの収集分析

7,000床の
病床不足への
対応



⊕ 障害者の生活・活動支援の拡充

- 障害者スポーツ・文化活動南部方面拠点の整備

誰もが生き生きと暮らせる社会へ

市民病院の再整備イメージ

■ 災害に強いまちづくり～災害に強い「人」「地域」「まち」～

⊕ 地域における防災力の強化

- 全対象地域防災拠点への簡易給水栓設置完了
- 消防団資器材の充実

⊕ 地震防災対策の更なる推進

- まちの不燃化
(補助件数計**900件**)
- 狹あい道路拡幅
(延長距離累計**189.3km**)

⊕ がけ地対策の推進

約**1,400か所**の現地調査
→全**約9,800か所**の調査完了

⊕ 水害対策の推進

⊕ 国土強靭化地域計画策定に向けた検討



がけ現地調査



成長分野・産業拠点の強化、中小企業振興等 ～活力あふれる横浜経済の実現～

⊕ イノベーションによる新産業・新事業の創出

- **LIP 横浜** を活用し、健康・医療分野の研究開発を推進
- **产学官金の連携**により、**IoT**関連企業とのプロジェクトにチャレンジする中小企業を支援



IoTで生産工程を最適化する中小製造業

⊕ 産業集積拠点の発展・強化

京浜臨海部、内陸部、金沢臨海部の機能強化

⊕ 中小企業振興、ベンチャー育成の支援

経営相談や専門家派遣、

ビジネスコンサルティングによる経営・技術支援

⊕ 商店街の活性化支援

- 商店街の多言語発信や商店街ツアーの実施
- 魅力を高める店舗誘致のためのベストマッチング事業



⊕ Y-PORTセンターの機能強化

公民連携の共同オフィスの開設

都市機能・環境の充実

都心臨海部の再生・機能強化～世界中の人や企業を惹きつけるまち～

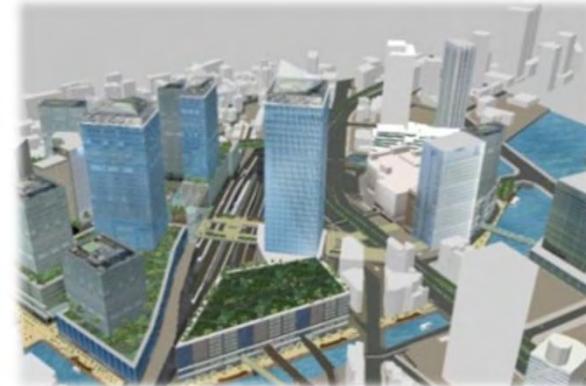
エキサイトよこはま22の推進

西口駅ビル開発とあわせた地下通路の延伸・接続

20街区での新たなMICE施設の整備

8月着工 H32開業

大規模な
バンケット機能も



横浜駅周辺の将来イメージ

新市庁舎整備

8月着工 H32完成

市庁舎移転を契機とした閑内・閑外地区の活性化推進

- 教育文化センター跡地の公募開始
- 横浜文化体育館の再整備の公募
- サウンディング調査を踏まえた現市庁舎跡地の公募準備



新市庁舎整備イメージ

都市機能・環境の充実

■郊外部の再生・活性化～住みみたい、住み続けたいと思えるまち～

+ 持続可能なまちづくりの推進

住宅地等の再生につながる取組の全区展開

+ 市街地開発の推進

二俣川駅南口地区 29年度末 竣工、
金沢八景駅、新綱島駅周辺地区等

+ 文化施設の整備

瀬谷区、港北区で
区民文化センターの整備を推進

+ 国際園芸博覧会の招致検討

(旧上瀬谷通信施設、2026年開催想定)

招致検討委員会を設置

29年度中に「開催の構想（案）」を策定



二俣川駅南口地区市街地再開発事業



都市機能・環境の充実

■ 都市インフラの強化 ~経済・市民生活を支える強靭な骨格づくり~

⊕ 横浜環状道路 北西線の整備

東京2020オリンピック・パラリンピック
までの開通を目指す



⊕ 國際コンテナ戦略港湾の推進

- 南本牧ふ頭コンテナターミナルMC-4整備
- LNG燃料供給拠点形成に向けた検討



⊕ 客船受入機能強化

- 大さん橋国際客船ターミナル機能強化
- 新港9号客船バースの整備
- 大黒ふ頭暫定CIQ (※) 施設整備

(※) 税関・出入国管理・検疫



⊕ 鉄道ネットワークの形成推進

- 高速鉄道3号線延伸の検討
- 神奈川東部方面線の整備

観光・MICE、文化芸術創造都市、スポーツ

全国都市緑化よこはまフェア (3月25日~6月4日)



花と緑に彩られた美しい横浜をアピール
来場者500万人



第50回アジア開発銀行年次総会 (5月4日(祝)~7日(日))

各国財務大臣、中央銀行総裁、民間金融機関関係者、NGO、報道関係者など
約4,000人をおもてなし



観光・MICE、文化芸術創造都市、スポーツ

- + **2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会**
(5月13日(土)・14日(日))
8回目の横浜開催



©Shugo Takemi

- + **ヨコハマトリエンナーレ2017**
(8月4日～11月5日)
我が国を代表する現代アートの国際展
第6回展
前回2014の総入場者数は **21.5万人**



撮影：加藤健

- + **ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017**
障害者と多様な分野のプロフェッショナルの協働



24

- + **横浜マラソン2017 (10月29日(日))**
参加者数は3,000人増 **28,000人**
第3回は、初の秋開催

■ ラグビーワールドカップ2019™・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

「横浜ビジョン」の実現 に向けてオール横浜で取組を推進

■ 会場施設等の整備

- 横浜国際総合競技場の照明設備等の更新



■ 来街者へのおもてなし

- Wi-Fi 環境整備
- 多文化・多言語化対応の強化



■ 英国オリンピック代表チーム 事前キャンプ地、 英國の「ホストタウン」としての受入準備

■ スポーツの振興

- 小中学生とオリンピアン・パラリンピアン等のトップアスリートとの交流



誰もが互いに尊重し、支え合う
共生社会の実現を目指す

※ 「ラグビーワールドカップ2019™ 東京2020 オリンピック・パラリンピックに向けた横浜市の取組」(素案) を本日発表。

29年度予算規模

- 一般会計の伸び率は、+8.7%で、プラス予算

会計名称	29年度	28年度	増▲減	増減率
一般会計	1兆6,459億円	1兆5,143億円	1,316億円	8.7%
特別会計	1兆3,449億円	1兆3,416億円	33億円	0.2%
公営企業会計	5,801億円	5,409億円	392億円	7.2%
総計	3兆5,709億円	3兆3,968億円	1,741億円	5.1%

注：県費負担教職員の本市移管に伴う事業費1,510億円を除いた一般会計予算は1兆4,949億円で、
対前年度▲1.3%

【一般会計の増減の理由】

- ・人件費の伸び率： +70.7%（県費負担教職員の本市移管に伴う事業費を除いた
人件費は▲0.6%）
- ・扶助費の伸び率： +3.5%

- 市税収入の見込み額は、7,193億円 (+0.5%)

- ・個人市民税で「給与所得の納税者数の増」
- ・固定資産税で「家屋の新增築等の増」

29年度財政目標の達成

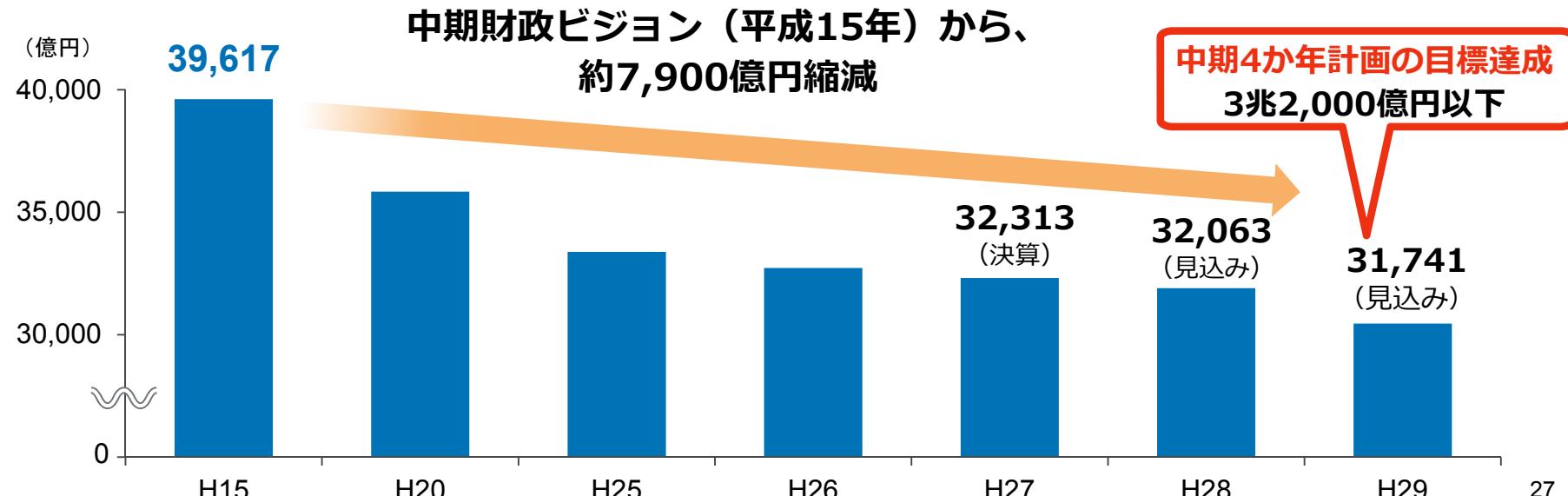
- 一般会計が対応する借入金残高：中期4か年計画の目標達成見込み

【目標】3兆2,000億円以下 【29年度末見込み】3兆1,741億円

- 本市の財政運営で重視してきた横浜方式のプライマリーバランス：概ね均衡を上回る水準

【目標】概ね均衡 【29年度】+ 65億円

一般会計が対応する借入金残高の推移



徹底した事務事業の見直し

- 事業見直しの徹底、内部管理業務等の事務の効率化
- 効率的・効果的な組織体制の整備

29年度 事業見直し1,100件、効果額105億円

(28年度 1,101件、104億円)

【主な見直し内容】

- **市役所内部経費の見直し**
- **民営化・委託化の取組**
- **時代の変化を踏まえた事業手法等の見直し**

外郭団体に対する補助金・委託料の見直しなど

事業見直しによる効果額の推移

年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
見直し効果額	105億円	104億円	102億円	108億円	102億円
見直し件数	1,100件	1,101件	1,092件	1,090件	709件

おわりに

中期4か年計画の成果を更に高めるとともに、2019・2020年に向けた取組を進めていきます



横浜市トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/>

定例記者会見トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/mayor/interview/>

財政局財政課トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/zaisei/>